

- 問1 農作物を育てるために、川やため池から引き入れて畑や田んぼにまく水のことを一般に何といいますか？
- 問2 本州と四国を陸路で結び、交通の便を向上させた大規模な橋の総称を何という？
- 問3 徳島県で毎年夏に開催され、全国的に有名な伝統的な踊りを何という？
- 問4 島根県沖の日本海に存在し、複数の島から構成される地域を何という？
- 問5 香川県を代表する郷土料理で、小麦を主原料とした麺料理を何という？
- 問6 愛媛県にある、日本最古の温泉といわれる歴史ある温泉地を何という？
- 問7 鳥取県の海岸沿いに広がる、風によって運ばれた砂が堆積してできた地形を何という？
- 問8 愛媛県の急な斜面を利用して行われる、果樹栽培に適した農地を何という？
- 問9 本州四国連絡橋のような交通網が整備されたことで、地方都市の人口が大都市へ流出してしまう現象を何といいますか？
- 問10 讃岐平野が属している、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候区分を何といいますか？
- 問11 降水量の少ない瀬戸内海式気候の地域で、農業用水を確保するために作られた施設を何という？
- 問12 香川県を中心とした温暖な気候で栽培される小麦を原料とし、地元の名物となっている食品を何といいますか？
- 問13 山口県の西側で、関門海峡を挟んで接している地域を何という？
- 問14 中国山地と四国山地に挟まれ、降水量が少なく温暖な気候が特徴の地方を何という？
- 問15 徳島県で生産され、全国で最も生産量が多い柑橘類の果物を何という？
- 問16 島根県にあり、縁結びの神として有名で、毎年旧暦の10月に全国から神々が集まると伝えられている神社を何という？
- 問17 鳥取県で、日照時間が長く水はけが良い地形を活かして栽培が盛んな果物を何という？
- 問18 山口県周南市などを中心に、瀬戸内海沿岸に見られる石油化学コンビナートが立ち並ぶ地域を何という？
- 問19 本州・四国・九州に囲まれ、雨が少なく年間を通して温暖な気候区を何という？
- 問20 愛媛県の東部などで古くから盛んな、紙や関連製品を作る産業を何という？
- 問21 瀬戸内海沿岸に発達し、原油などの輸入や製品の加工が盛んな工業の集まりを何という？
- 問22 県土の大部分が山地で占められている高知県で、古くから行われている山林の資源を活用した産業を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>農業用水</b>	農業用水は、川から直接引く場合もあれば、ため池やダムに貯めた水を利用する場合があります。作物が必要とする時期に合わせて、水路を通して田畑に配分される仕組みです。これには、地域の水利組合などによるルール作りと、施設を維持する共同作業が不可欠です。
問2	<b>答え</b> <b>本州四国連絡橋</b>	本州四国連絡橋は、神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルートの3つのルートからなり、道路と鉄道が整備されました。これにより、四国と近畿圏や中国地方との距離が大幅に短縮されました。
問3	<b>答え</b> <b>阿波おどり</b>	「連」と呼ばれるグループが、独特のテンポの良いリズムに合わせて踊り歩くのが特徴です。その様子は「踊る阿呆に見る阿呆」と形容されるほど活気に満ちており、徳島県の文化を象徴する行事となっています。
問4	<b>答え</b> <b>隠岐諸島</b>	隠岐諸島は、島根県に属する島々で構成されており、海沿いの断崖絶壁や独自の生態系が特徴です。その特異な地形から、世界的に価値のある場所としてユネスコ世界ジオパークに指定されています。
問5	<b>答え</b> <b>さぬきうどん</b>	さぬきうどんは、強いコシと滑らかな喉越しが特徴の麺料理です。製麺技術や出汁にこだわりを持つ多くの専門店が県内に存在し、食文化としての地位を確立しました。
問6	<b>答え</b> <b>道後温泉</b>	松山市にある道後温泉は、その名湯としてだけでなく、歴史的な建造物である「道後温泉本館」でも知られています。明治時代に改築された本館は国の重要文化財に指定されており、温泉文化の象徴となっています。
問7	<b>答え</b> <b>砂丘</b>	鳥取砂丘は、日本最大級の砂丘として知られており、独特の景観を作り出しています。風紋や砂柱といった地形学的に貴重な自然現象が見られる場所であり、地域の大切な観光資源となっています。
問8	<b>答え</b> <b>段々畑</b>	この急傾斜地を階段状に切り開いて作られたのが「段々畑」です。太陽の光を十分に受けられ、水はけも非常に良いことから、みかんをはじめとする果樹の栽培に非常に適しています。
問9	<b>答え</b> <b>ストロー現象</b>	ストロー現象とは、交通網の発達によって、地方の経済や人口が大都市に吸収されてしまう現象です。ストローで飲み物を吸い込むように、四国などの地方から消費や労働力が、より大きな市場を持つ京阪神などの大都市圏へ流出してしまうことを指します。
問10	<b>答え</b> <b>瀬戸内</b>	瀬戸内気候は、一年を通じて晴れの日が多く、雨が少ないのが最大の特徴です。この気候を利用して、古くから塩田の開発やオリーブの栽培などが盛んに行われてきました。また、夏には高温になりますが、冬は温暖で雪もあまり降りません。
問11	<b>答え</b> <b>ため池</b>	このため、古くから人々は川の水を引くことが難しい地域で、雨水を貯めて農業用水にするための人工的な池である「ため池」を多く築造しました。特に香川県はその数が非常に多いことで知られています。
問12	<b>答え</b> <b>さぬきうどん</b>	さぬきうどんは、地元の小麦、瀬戸内海の塩、良質な水という、この地域の風土が産んだ産物から作られます。コシの強い独特の食感が特徴で、県内には数多くの専門店が並びます。
問13	<b>答え</b> <b>九州</b>	関門海峡は古くから海運の重要地点であり、現在は関門橋や関門トンネル、新幹線などで本州と九州を結ぶ交通の大動脈となっています。山口県は本州の最西端に位置するため、九州との往来が非常に活発で、生活圏としても一体感があります。
問14	<b>答え</b> <b>瀬戸内</b>	瀬戸内の気候は、一年を通じて晴れの日が多く、雨が少ないのが最大の特徴です。この温暖で安定した気候は、古くから塩田の開発や農業に適した環境を作り出してきました。また、地形的に閉鎖的な海域である瀬戸内海と接しており、冬でも比較的暖かいため、住民にとって生活しやすい環境が整っています。
問15	<b>答え</b> <b>すだち</b>	すだちは香りが高く、特に焼き魚やうどんなどの風味を引き立てる調味料として欠かせません。全国の生産量のほとんどを徳島県が占めており、地域のブランド農産物として広く認知されています。
問16	<b>答え</b> <b>出雲大社</b>	出雲大社は縁結びの神様として全国的に信仰を集めており、特に旧暦の10月は、他の地域の神々が出雲に集まり会議を行うとされることから「神在月」と呼ばれます。本殿は「大社造り」という日本最古の神社建築様式で建てられており、国宝に指定されています。
問17	<b>答え</b> <b>ナシ</b>	鳥取県では、二十世紀梨をはじめとする品種の栽培が盛んです。日照時間の長さを活かした栽培技術が確立されており、全国的なブランドとして認知されています。
問18	<b>答え</b> <b>瀬戸内工業地域</b>	瀬戸内工業地域は、山口県から岡山県にかけての沿岸部に広がっています。山口県の周南市周辺では、石油精製やプラスチック製品の原料などを生産する巨大な石油化学コンビナートが立ち並んでいます。これらの工場は、瀬戸内海の港を利用して海外から原油を安く運び込み、効率よく製品を作ることができるため、日本の重化学工業の心臓部となっています。
問19	<b>答え</b> <b>瀬戸内式気候</b>	瀬戸内式気候は、一年を通じて晴れの日が多く、温暖です。この環境は農作物の栽培には適していますが、一方で降水量が少ないため、古くから農業用の灌漑施設として「ため池」が多くつくられてきました。
問20	<b>答え</b> <b>製紙</b>	近代に入ると機械を用いた製紙業へと発展し、全国でも有数の紙・パルプ生産拠点となりました。瀬戸内海に面した立地を活かした物流の利便性もあり、現在でも多くの製紙工場が稼働しています。
問21	<b>答え</b> <b>瀬戸内工業地域</b>	瀬戸内工業地域は、原油を輸入する石油化学コンビナートや、製鉄所が多く立地しています。原料の搬入から製品の出荷までを港を通して効率的に行えるため、重化学工業が中心となっているのが最大の特徴です。
問22	<b>答え</b> <b>林業</b>	林業は、植林や育林、伐採を行い、木材を生産・販売する産業です。特に高知県では、古くからスギやヒノキの植林が広く行われ、建築用材としての供給が行われてきました。